

# 令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 徳力 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

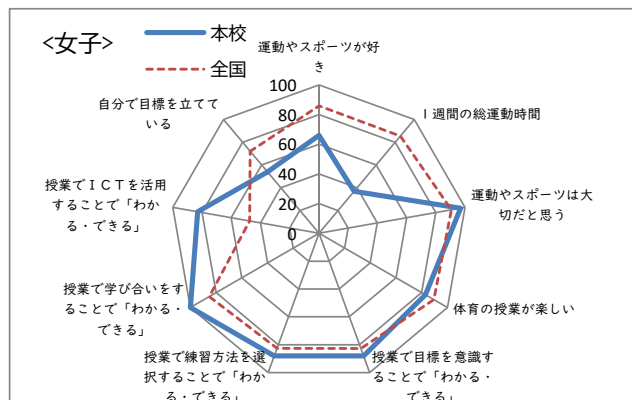
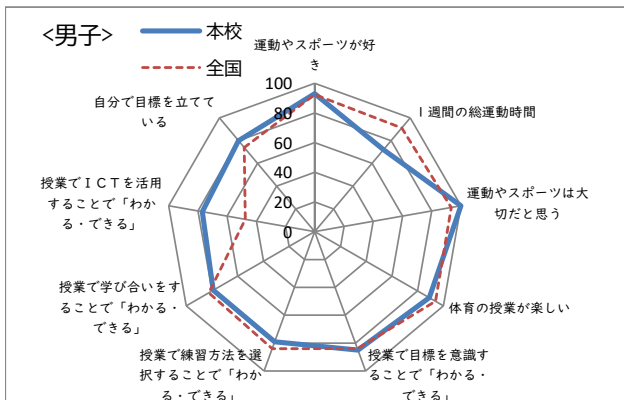
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目	○								

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目									

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

- 『授業でICTを活用することで「わかる」「できる』』と答えた児童が全国平均を上回っている。また、学び合いの場面においてもICTを活用しており、学び合いの充実にもつながっていることが分かる。
- 「学校の体育の時間以外でも運動やスポーツを行っている（1週間に60分以上の割合）」と答えた児童が全国平均を下回っており、個人差はあるが、特に女子の1週間の総運動時間の確保に課題がある。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 「北九州市体力向上プログラム」を活用し、授業の導入で「ジャンプアップ運動」等、体力向上に繋がる補助運動（3～5分程度）に取り組んでいく。また、いつでもどの学級でも取り組むことができるように、体育館壁面に「ジャンプアップ運動」等のマニュアルを掲示する。
- 1単位時間の体育科学習の「8割以上を運動時間」とすることを目標とし、運動量の確保に努める。

#### ② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

- コロナウイルス感染症の第5類引き下げに伴い、「5分間走」や「なわとびタイム」を各学年の教育課程実施の時期に合わせて再開する。また、休み時間における運動場での遊びの制限もなくなったため、外遊びを奨励する。
- 学校でも家庭でも取り組める「なわとびカード」等を作成し、学校通信等で各家庭でも運動に取り組んでもらえるように呼びかける。